

## 全国共済水産業協同組合連合会

代表理事会長 大井 誠治

### 新しい3か年計画がスタート

新年あけましておめでとうございます。

年頭にあたり、浜の皆様にご挨拶と新春のお慶びを申し上げます。

常日頃からJF共済の普及推進活動に格別のご尽力を賜わり、心から厚く御礼申し上げます。



はじめに、全国各地に甚大な被害をもたらした大型台風をはじめ豪雨、水害等の自然災害により被害に遭われた全国各地の漁業関係者ならびに地域住民の皆様に対し、衷心よりお見舞いを申し上げますとともに、一日も早い復旧をお祈りいたします。

さて、JF共済を取り巻く情勢は頻発する自然災害、人口の減少や高齢化に伴う漁業従事者の減少、地球温暖化をはじめ海洋環境の変化などによる不漁、不安定な国際情勢など、先行き不透明で相変わらず厳しい状況が続いております。

こうした厳しい環境の中、JFグループでは全漁連を中心に「水産日本の復活」を掲げ、浜プランを実行し成果を挙げてまいりました。また、昨年開催された「JF全国代表者集会」では「水産業の成長産業化に向けた改革の実践～JFグループが漁業者とともに自ら拓く浜の未来～」を新しい運動方針として、浜の構造改革や漁業所得向上に向けて取り組むことが決議されました。

JF共済においては「一人ひとりの笑顔のために…協同の原点JF共済3か年計画」のもと、組合員との絆の強化、共済の輪の拡大、共済推進・支援体制の整備、共済の健全性・信頼性の強化、元気で活力のある漁村・地域づくり支援を重点取組み施策として全戸訪問による保障点検活動を展開しております。2020年度から始まる新たな3か年計画への架け橋となるよう、現3か年計画の総仕上げとして推進本部を中心にJFと一体となり目標達成に向けて邁進していく所存です。

JF共済は平成29年7月改正の「新くらし」の展開、平成30年7月には「新チョコー」の改正、令和1年7月にも一部改正を行い、様々なニーズに応えるための保障制度作りを行っています。今後は、チョコー・くらしを中心に保有実績の維持・拡大を目指しJFの継続的かつ安定的な事業基盤の確立に努めてまいります。

また、引き続き共済事業経営の一層の健全性強化に取り組むとともに、組合員・地域住民の皆様のご負担に応え、ご利用者ニーズにあった保障制度の提供に努めてまいります。

オリンピックを迎える今年は、新たな3か年計画がスタートする節目の年となります。浜の保障に万全を期すために様々な取り組みを力強く実施してまいりますので、引き続きご指導・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。